

## まちづくりの将来ビジョン(素案)に対するパブリック・コメントの結果

### 実施概要

#### 1 募集期間

平成16年10月1日(金)から11月1日(月)まで 32日間

#### 2 募集の周知

合併協議会だより(10月1日号、10月15日号) 合併協議会ホームページ、各市町  
広報紙(10月1日号)

#### 3 素案の配布場所

相模原市 合併協議会事務局、行政資料コーナー、各出張所、各公民館

城山町 まちづくり課、情報コーナー、公民館図書室、保健福祉センター

津久井町 合併対策室、町政情報コーナー、串川支所、鳥屋支所、青野原支所、青根  
支所、生涯学習センター、串川ひがし会館、文化福祉会館

相模湖町 合併推進課、各公民館、さがみ湖リフレッシュセンター、相模湖交流セン  
ター

#### 4 募集方法

直接持参、郵送、ファックス、Eメール

#### 5 意見提出状況

14人(50件)

#### 6 意見の内訳(同じ内容の意見は集約した)

全 体	6 件
策定の趣旨、方針(第1章 - 1、2)	3 件
新市の将来像(第2章 - 1)	1 件
市民参画・行財政(第2章 - 3)	2 件
交通(第2章 - 2、第3章)	8 件
都市基盤(第2章 - 2、第3章)	2 件
自然・環境(第3章)	1 件
産業・観光・土地利用(第2章 - 2、第3章)	4 件
教育・文化(第2章 - 2、第3章)	4 件
保健・医療・福祉(第3章)	4 件
安全・安心(第2章 - 2)	1 件
その他	2 件
合 計	38 件

#### 7 結果の公表

提出された意見の概要及び提出された意見に対する協議会の考え方を公表する。

(1) 合併協議会ホームページへの掲載

(2) 素案を配布した場所での閲覧及び配布

(3) 合併協議会だよりへの掲載

意見の要旨と合併協議会の考え方

1 全体 < 6件 >

素案に対する意見等（要旨）	合併協議会の考え方（案）
<p>合併しても境界が消えるだけで、劇的にまちづくりがしやすくなるわけではないのではないか。</p>	<p>1市3町がそれぞれ取り組んでいる施策を、ひとつの自治体として進めることにより、これまで以上に効率的かつ効果的に行うことが可能になると考えております。また、各地域の持つ資源を活用することにより、まちづくりの可能性がさらに広がるものと考えております。</p>
<p>財政の裏づけがなく、合併と関連のない事項がある。総花的で具体的な事業が分からない。</p>	<p>このビジョンは、新市の将来の目標について委員が自由な発想のもとに作成したものです。個々の事業費を積み上げて、その財源をお示ししているものではありません。今後さらに検討が進み、法定の合併協議会が設置された場合には、このビジョンを基本に新市建設計画を定めることとなりますので、その中でより具体化していくものと考えております。</p>
<p>津久井地域への財源の投入が大きくなりすぎるのではないかと。</p>	<p>合併する場合においても、津久井地域の都市基盤や公共施設を現在の相模原市域と全く同じにする必要はなく、新市全体のバランスを考えながら、地域資源を活かし、地域の特性に合ったまちづくりを進めることが大切であると考えます。また、行政コストについては、管理部門やごみ処理、消防などの統合、職員数の削減など、合併によるスケールメリットを活かした経費削減効果が見込まれます。</p>
<p>国、県や民間がやるべき事業まで記載している。</p>	<p>まちづくりは新市だけで行うものではなく、国や県、住民や事業者などの適切な役割分担と協働により行われるものであり、総合的に考えていく必要があることから記載しているものです。</p>
<p>まちづくりの目標には、国、地方自治体の財政の逼迫、破綻を打開するという課題認識が共有されているのか。</p>	<p>新市におけるまちづくりの進め方として、効率的な目標ある行財政改革等が必要であると認識しております。（「まちづくりの進め方」に記載）また、まちづくりの目標を達成するために、具体的にどの事業をどの程度行うかなどについては、今後の計画づくりの中で検討されることになると考えております。なお、合併特例債の活用については、慎重に検討する必要があるものと考えております。</p>

<p>「都市再生緊急整備地域への指定」「町田・相模原業務各都市構想」「相模総合補給廠跡地利用構想」について、具体的に検討して欲しい。</p>	<p>今後、個別の事業実施の段階で検討されるものと考えます。なお、町田・相模原業務核都市基本構想は、首都圏の業務機能等の適正配置のために都県レベルで定めるものであり、合併による影響は少ないと思われます。また、相模総合補給廠跡地の利用について検討することも大切であり、「まちづくりの目標 - 土地利用」で、施策の方向性に「米軍基地対策の推進」を掲げております。</p>
--	---

2 策定の趣旨、方針（第1章 - 1、2） < 3件 >

素案に対する意見等（要旨）	合併協議会の考え方（案）
<p>判断材料とするなら、なぜ合併を目指すのか、課題とその解決のための合併の効果が具体的に示されていない。 (策定の趣旨)</p>	<p>合併の効果は、住民サービスの向上や財政をはじめ、様々な視点から考える必要がありますが、このビジョンは、各市町を持つ課題を踏まえ、地域資源を活用する観点から、どのようなまちづくりが可能であるか検討したものです。このビジョンで掲げた、まちづくりの目標を達成することが、合併の効果となるものと考えております。</p>
<p>新市建設計画にビジョンの内容が反映できるよう明記してもらいたい。 (策定の趣旨)</p>	<p>ご意見の趣旨が文章表現のうえで、より明確になるよう、「新市建設計画策定の際、活用されていくこととなります。」を「新市建設計画策定の際に活用され、反映されることとなります。」に改めるものといたします。</p>
<p>住民投票で決定される旨を加える。 (策定の方針)</p>	<p>まちづくりの将来ビジョンは、素案に対してのパブリック・コメントやアンケート調査などにより住民の皆様のご意見を反映した上で、相模原・津久井地域合併協議会での協議項目として協議され、決定されるものであり、住民投票にはなじまないものと考えております。</p>

3 新市の将来像（第2章 - 1） < 1件 >

素案に対する意見等（要旨）	合併協議会の考え方（案）
<p>「自然と共生する」という視点を加える。</p>	<p>自然と共生するという視点は重要であると考えていることから、自然・環境の「まちづくりの目標 分野別方針」で、自然と共存する地域づくりに取り組むこととしているものです。</p>

4 市民参画・行財政（第2章 - 3） < 2件 >

素案に対する意見等（要旨）	合併協議会の考え方（案）
<p>「市民参画」を「市民の役割と責務」とした方が、視点の趣旨が分かりやすい。 (視点1 - 市民参画)</p>	<p>行政と市民とのパートナーシップの構築、ボランティア活動の推進など、市民の声が市政に反映され、市民自らも主体的にまちづくり</p>

	を行うという趣旨で「市民参画」と表現しております。
行政サービスはほとんど相模原市の制度に統合することになっているが、住民の期待に答えられるのか疑問。 (視点2 - 行財政)	相模原市の方が、津久井地域に比べて基本的に行政サービスの水準が高くなっていることから、相模原市の制度に統合することとしているものです。また、市民にとって必要な行政サービスの充実や、数値目標の設定による行政コストの削減、情報公開の推進等を図り、市民一人ひとりが納得しうる質の高い市政運営に努めることが必要であると考えております。

5 交通（第2章 - 2、第3章） < 8件 >

素案に対する意見等（要旨）	合併協議会の考え方（案）
新交通システムの建設には反対。 (1. 地域連結夢プロジェクト)	新市の一体性を確保するという観点から、骨格となる交通軸が必要となります。相模原市においては、道路の混雑状況に左右されない公共交通の手段として、新しい交通システムについて研究しており、新市においても事業採算性などを含め、研究することが必要であると考えております。
骨格幹線道路網の整備は現状の交通問題の解消にはつながらない。 新しく交通網を整備することで自然を破壊してしまい、自然に関するまちづくりの目標に反する。 費用は何百億もかかるのではないかと。 (施策の方向性)	津久井広域道路の一部は既に都市計画道路として決定され、県事業として整備が進められており、完成すればさらに社会活動が広域化し、観光や企業誘致など各種事業が活性化するとともに、福祉や医療機関の利用がより広範囲にわたって可能となるなど、新市の均衡ある発展のために、骨格幹線道路としての整備は欠かさずことのできないものと考えております。 今後とも、国、県、市の役割分担のもとで、必要な交通網の整備を進めていくことが必要であると考えております。 なお、合併特例債の活用については、慎重に検討する必要があるものと考えております。
中央自動車道路の相模湖東出口のインターチェンジ化を加えて欲しい。 (主要な施策例)	以前から相模湖町では、町の活性化や観光誘致などにおける利便性向上のため、県を通じて国への働きかけを行っておりますので、主要な施策例として「中央自動車道相模湖東インターチェンジへの入り口設置促進」を加えてまいります。
横浜線の中央線への乗り入れについて加えて欲しい。 (主要な施策例)	新市内の一体化を確保するために、まず骨格となる交通軸の設置が必要となります。津久井地域において、交流のしやすい環境を整備するため、高齢化や日常生活圏の拡大に伴う

	多様な交通ニーズに対応した公共交通網のあり方や、新市内を円滑に結ぶ骨格的な交通網の整備など、総合的な交通体系の検討が重要であると考えております。
「津久井地域への鉄道の延伸」はバブル期の幻想であり、必要性に疑問がある。 (主要な施策例)	津久井地域において、交流のしやすい環境を整備するため、ノーマライゼーションの理念のもと、高齢化や日常生活圏の拡大に伴う多様な交通ニーズに対応した公共交通網のあり方や、新市内を円滑に結ぶ骨格的な交通網の整備など、総合的な交通体系の検討が重要であると考えており、ご意見のとおり施策例からは削除いたします。
相模総合補給廠の跡地利用で、地下鉄により小田急線の相模原駅、上溝方面への延伸を検討する。 (主要な施策例)	新市内の連携、交流を図り、新市の発展を促すための骨格的な交通網を整備することが大切なことであることから、分野別の方針として、高齢化や日常生活圏の拡大に伴う、多様な交通ニーズに対応した公共交通網の整備が必要と考えております。
「リニア中央新幹線の新駅誘致」は必要性に疑問がある。 (主要な施策例)	リニア中央新幹線は、21世紀の豊かな社会の実現に向けての新たな交通動脈として、期待されております。首都圏の西の玄関として本地域が発展していくために、また、公共交通網の充実という観点からも、新市への駅設置は必要であると考えられます。
「通勤圏空港の整備」は必要性に疑問がある。 (主要な施策例)	通勤圏空港は、小規模地域航空に対応した空港としての機能を持つものですが、様々な交通手段による利便性の向上に伴い、新市内に整備しなくとも市民の交通需要に対応できることから、ビジョンの施策例からは削除いたします。

6 都市基盤（第2章 - 2、第3章） < 2件 >

素案に対する意見等（要旨）	合併協議会の考え方（案）
相模川上流の下水道の整備について記載する。 (施策の方向性)	自然の保全と活用のための取組みとして、相模川上流に位置する水源地の保全に関する施策は重要であることから、施策の方向性として、水源地域としての上下水道の整備推進が必要であると考えております。
公園の整備よりも、残されている雑木林の保護を重視して欲しい。 (主要な施策例)	快適で魅力ある居住環境を創造することが大切であることから、施策の方向性として、都市緑化の推進が必要であると考えております。

7 自然・環境（第3章） < 1件 >

素案に対する意見等（要旨）	合併協議会の考え方（案）
湖底の土砂の堆積対策について追加する。	河川や湖の水質の向上を図り、水源地域の

(主要な施策例)	総合的な環境の向上を目指すことが大切であることから、施策の方向性として「湖環境の向上」を図ることとしております。
----------	--

8 産業・観光・土地利用（第2章 - 2、第3章） < 4件 >

素案に対する意見等（要旨）	合併協議会の考え方（案）
地産地消の概念を加える。 （4．まち+水源地=産業創生プロジェクト） （分野別方針 - 産業 主要な施策例）	地域で生産された食材を地域で消費する地産地消の考え方は、消費者の食に対する安全・安心志向の高まりを背景に、消費者と生産者の相互理解を深める取組みとして期待されています。 このため、ご指摘の点については「まちづくりの目標 分野別方針 - 安全・安心」の「安全な消費生活の確立の主要な施策例」に、「地産地消の考え方に基づく生産者と消費者が連携した仕組みづくり」を加えてまいります。
尾房山を利用した美術館の設置を検討して欲しい。 （主要な施策例）	相模川や津久井地域の湖などの、資源を活かした観光産業の拠点づくりは大切と考えております。具体の施策については、今後の計画づくりの中で、さらに検討されるものと考えております。
相模湖周遊道路の建設について検討して欲しい。 （主要な施策例）	
相模湖駅舎を改造し、表と裏を結ぶ橋を実現して欲しい。 （主要な施策例）	
	ご意見については、主要な施策例「相模湖駅前市街地の環境、景観の改善」及び「分野別方針 - 産業」の主要な施策例「地域コミュニティの核となる商店街の活性化」の中に含まれるものと考えております。

9 教育・文化（第2章 - 2、第3章） < 4件 >

素案に対する意見等（要旨）	合併協議会の考え方（案）
市立大学は不要である。 （5．市民キャンパスプロジェクト）	自然や文化を生かした学習活動を展開することが大切であると考えていることから、「5．市民キャンパスプロジェクト」の施策例「市立大学の創設（自然を生かした学部の創設）」を「生涯学習キャンパスの展開（グリーン・カレッジの展開）」に変更いたします。
「就学前の教育、保育を一体化した総合施設」をぜひ実現して欲しい。 （主要な施策例）	就学前の幼児教育、保育を一元化することは今後の課題として考えられることから、主要な施策例として考えております。
施策例として、自然を活かした体験学習の拠点づくりを加えて欲しい。 （主要な施策例）	津久井地域の豊かな自然を活かした体験学習が可能となることから、施策例に「自然を活かした体験学習の拠点づくり」を加えてまいります。

「外国籍市民への支援と交流の機会充実」を実現して欲しい。 (主要な施策例)	市民レベルでの国際交流が今後とも大切であると考えることから、主要な施策例としたものです。
--	--

1 0 保健・医療・福祉（第3章） < 4件 >

素案に対する意見等（要旨）	合併協議会の考え方（案）
「高齢者や障害者の生活支援と社会参加に対して、思いやりを持って助け合う地域社会の形成に取り組みます」を「高齢者や障害者の自立と社会参加に対して、ノーマライゼーションの理念を持って支えあう地域社会の形成に取り組みます」に変更する。 (分野別方針)	「思いやりを持って助け合う」という表現よりも、ノーマライゼーションの理念の方が適切であると思われることから、ご意見のとおり変更いたします。
「医療体制の充実」を「医療・相談支援体制の充実」に変更する。 (施策の方向性)	総合的な地域保健医療体制の充実が重要と考えることから、相談支援の機能強化について、ご意見のように変更いたします。
「健康づくりの推進」に、(予防医学の考えを取り入れたトレーニング施設の設置)を加える。 (主要な施策例)	「健康づくりの推進」には、予防医学の考え方も含まれるものと考えられます。具体的な事業については、今後の計画づくりの中で検討されるものと考えております。
「保育所・児童クラブの待機児童解消」は市の活力、人口を維持するためにも最優先にして欲しい。 (主要な施策例)	子育て環境づくりに努めることは今後とも重要であると考えております。具体的な事業の実施については、今後の計画づくりの中で検討されるものと考えております。

1 1 安全・安心（第2章 - 2） < 1件 >

素案に対する意見等（要旨）	合併協議会の考え方（案）
合併を機会に、自治会のない地区でも組織作りをするべきである。 (3.安全・安心ネットワークプロジェクト)	市民がお互いに支えあう地域社会の形成が重要なことから、まちづくりの進め方として、「地域コミュニティ活動の促進」「地域コミュニティ機能を支える組織づくり」が必要であると考えております。

1 2 その他 < 2件 >

素案に対する意見等（要旨）	合併協議会の考え方（案）
「まちづくりの検討課題」はあくまで個人の意見であり、慎重な取扱いをお願いしたい。 (補章)	ここで整理された地域特性、資源や課題については、検討委員会の中で各委員から出された意見を、あくまで参考としてお示ししたものです。
「1市3町の人口動向」表は人口が減少に転じていることを示す表なので、平成12年と昭和55年の比較は必要ない。 (参考 - 2)	5年毎に実施される国勢調査のデータについて記載しているもので、今後の人口動向に関わらず、実績値としてお示ししております。